

**巻頭言** 精神疾患のハイリスク状態に対する適切な呼称について

高橋 努

富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

2021年7月より本学会理事を拝命しました富山大学の高橋努と申します。私自身は本学会に入会した1999年ごろより統合失調症の生物学的研究に携わっており、ここ十数年は臨床および研究的取り組みの中心に「精神疾患への早期介入」を据えてきました。しかし早期介入分野において、統合失調症をはじめとする精神疾患のハイリスク状態に対する呼称は必ずしも統一されておらず、また一部の呼称がスティグマにつながるなどの批判があります<sup>1)</sup>。そこで本稿では、本誌の巻頭言としては些かの外れかもしれませんが、ハイリスク状態の呼称について話題提供してみたいと思います。なおICD-11の日本語病名・用語については、psychotic disorders (またはpsychosis)を「精神症」と和訳することが提唱されていますが、本稿では従来訳の「精神病」を使用していることにご留意いただければと思います。

疾患呼称とスティグマの問題は必ずしも精神医療に特異的なものではなく、例えば2022年11月に日本糖尿病協会がスティグマ払拭を目的に「糖尿病」の呼称変更を検討する方針を明らかとしました。「生活習慣がだらしない」などと周囲から見られやすいことや、病名に「尿」の字が含まれるマイナスイメージなどが問題とされており、今後1~2年で新たな病名が提言される見込みのようです。さて精神医療分野における呼称変更といえば、やはり「精神分裂病」から「統合失調症」への変更(2002年)が思い浮かびます。従来呼称がスティグマにつながるものであることや必ずしも病態を正しく反映していないことなどから呼称変更が行われ、医療・福祉現場や行政、学術分野で広く用語置き換えが進むとともに、病名告知と心理教育の促進など当事者参加の医療に向けた道筋が示されたことはわが国の精神医療の大きな変革であったかと思えます。この流れは、近年活発化している精神科早期介入の分野にも波及しつつあるように思います。

現在、臨床現場や論文などで用いられる精神疾患のハイリスク状態に対する呼称としては、「精神病発症危険状態」や「こころのリスク状態」(いずれ

も at-risk mental state の訳)、「減弱精神病症候群」(DSM-5 で今後の研究のための病態として採用された attenuated psychosis syndrome の訳)、「超ハイリスク」(ultra-high risk の訳)などが挙げられます。私自身の学術論文では主に at-risk mental state を用いてきましたが、共著者や査読者の意向によって ultra-high risk や clinical high-risk state for psychosis などの呼称も使用してきました。臨床場面では、専門外来の名称(こころのリスク外来)に合わせて、当事者や家族への説明の際には「こころのリスク状態」との呼称を用いています。また近年、メルボルンの早期介入サービス利用当事者がスティグマを生じにくい新呼称の候補として、「診断前ステージ」(pre-diagnosis stage)、「精神疾患の発症可能性」(potential of developing a mental illness)、および「精神疾患の発症素因」(disposition for developing a mental illness)を提案しています<sup>2)</sup>。現在、富山大学では国内他施設と協力してハイリスク当事者とその家族および医療従事者を対象にハイリスク状態の適切な呼称に関する質問紙調査を行っており<sup>3)</sup>、結果をオーストラリアやイタリアでの調査結果と比較検討予定です。これらの取り組みがスティグマを伴わない適切な用語策定、さらには将来的な精神科早期介入の裾野拡大や生物学的研究の進展にもつながることを期待しているところです。

## 文 献

- 1) Kim SW, Polari A, Melville F, et al (2017) Are current labeling terms suitable for people who are at risk of psychosis? Schizophr Res, 188 : 172-177.
- 2) Polari A, Street R, Conus P, et al (2021) Patients', carers' and clinicians' attitudes towards alternative terms to describe the at-risk for psychosis state. Schizophr Res, 237 : 69-75.
- 3) 高橋 努 (2022) 精神疾患のハイリスク状態に対する適切な呼称に関して. 予防精神医学, 7 : 107-109.